

35期北近江文化学科

課題学習発表

発表テーマ

湖北・湖東の山城跡探訪

身近に隠れた山城跡を巡る

城郭グループ

川村護・小山正實・大工信隆・
信澤勝・宮下哲



城郭グループ

メンバー写真

長浜 横山城跡

1. テーマ選定

- 歴史好きの素人目線

- 湖東・湖北の山城跡

- シニアが容易に行ける場所

登り口付近から徒歩 1 時間以内

- 隠れた城跡

2. 目標（目指すポイント）

- シニア向けガイド用、行き方、散策コース

写真・地図を使い視覚的に

- 山城跡の見どころ、築城、城主等の歴史的経過
- 各自の感想個人メモ
- 探訪地域を湖東・湖北に限定する

3. 探訪する山城跡の選定理由 & 見どころ

- 築城時代 1400年代前半から1500年代後半

- 石垣、土塁、堀切、曲輪、豎堀等が残存

- 曲輪、見張り台、狼煙台等からの眺望

- 近江の歴史にターニングポイントとなった城

合戦場の戦略的拠点、近江守護大名としての拠点

4. 探訪計画 ワークショップ

候補山城

箕作山城
水荃岡山城
観音寺城
深谷・岩崎山城
勝楽寺城
山崎山城
山本山城
玄蕃尾城
太尾山城
物生山城
長光寺城
横山城
和田山城

眺望
遺跡残存



歴史的評価
築城時代

選定山城

水荃岡山城
観音寺城
深谷・岩崎山城
(北之庄城)
玄蕃尾城
太尾山城
長光寺城
横山城

5. 探訪計画事務局への提出

平成25年12月 太尾山城、玄蕃尾城



平成26年1月 水荃岡山城、観音寺城



平成26年2月 深谷・岩崎山城



平成26年3月 長光寺城



平成26年4月 横山城

6. 探訪した山城跡



7. 探訪山城跡一覽

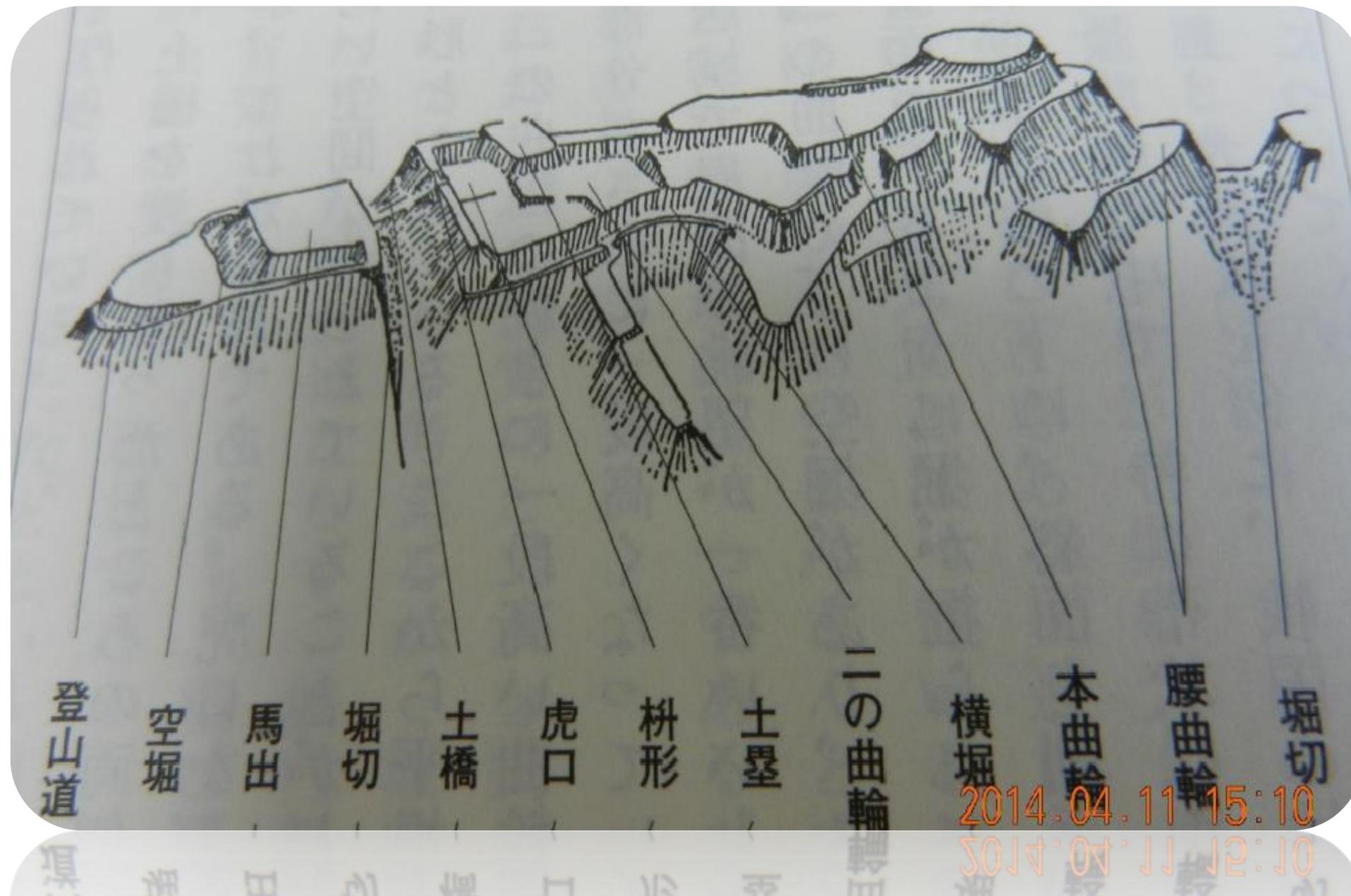
探訪山城	地域	見どころ
観音寺城	近江八幡市	日本五大山城・石垣
水荃岡山城	近江八幡市	風光明媚
深谷・岩崎山城	近江八幡市	曲輪・土塁・枡型虎口
長光寺城	近江八幡市	曲輪・石垣・眺望
玄蕃尾城	長浜市 敦賀市	土塁・曲輪・竪堀・空堀
横山城	長浜市	眺望・二重堀切
太尾山城	米原市	眺望・曲輪・堀切

8. 山城とは

麓から100m
以上の高さに
築かれた城

虎口、曲輪、
土塁、堀切、
石垣等から構成

小和田哲男著
『戦国の城』
犬居城復元鳥瞰図
原図見崎関雄



8 - 1. 曲輪

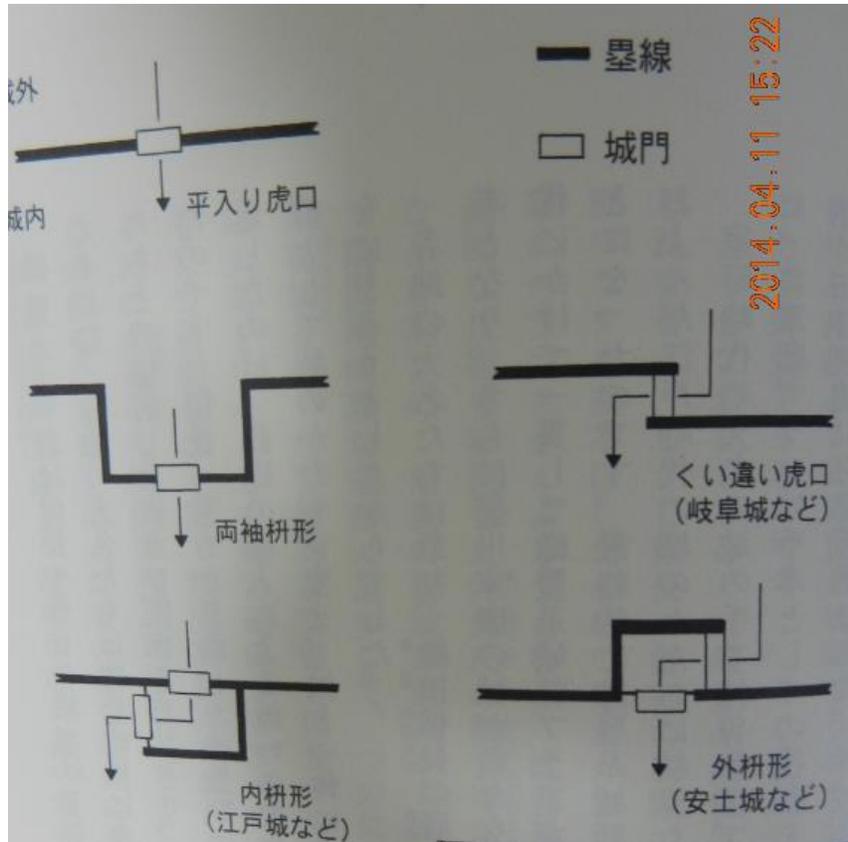
日常生活や戦いの為に人工的に平たくつくられた区画で堀や土塁で囲まれる



横山城の曲輪

8 - 2. 虎口

戦いの時の城の出入口。城の内外、曲輪間を結ぶ場所



千田嘉博著『戦国の城を歩く』

深谷・岩崎山城の枡形虎口

8-3. 土塁

周囲から遮蔽したり、その上に乗って戦う為につくられた土手。土を盛る。



玄蕃尾城
の土塁

8 - 4 . 堀切

山の尾根や、台地を空堀で切断し、敵の侵入を防ぐ



太尾山城の堀切

8 - 5. 石垣

戦国時代の土造りの城から、観音寺城、安土城の築城に高石垣が取り入れられ、
防御的にも優れ、『見せる』要素、権威を表すもの、近世の城として発展



安土城の石垣

9 山城の変遷

1192

鎌倉

元寇 防塁 博多沿に石塁

1336

南北朝

南北朝の争乱

山城の発展 天然の要塞

1392

室町

山岳寺院の城塞化

守護館が各地で平地に造営

1493

戦国

応仁の乱 勃発

再び山城の築城
人工的な防御施設
曲輪土塁堀切虎口

1573

織豊

織田信長
安土城 石垣天主瓦
近世城郭の始祖

1603

江戸

秀吉に継承

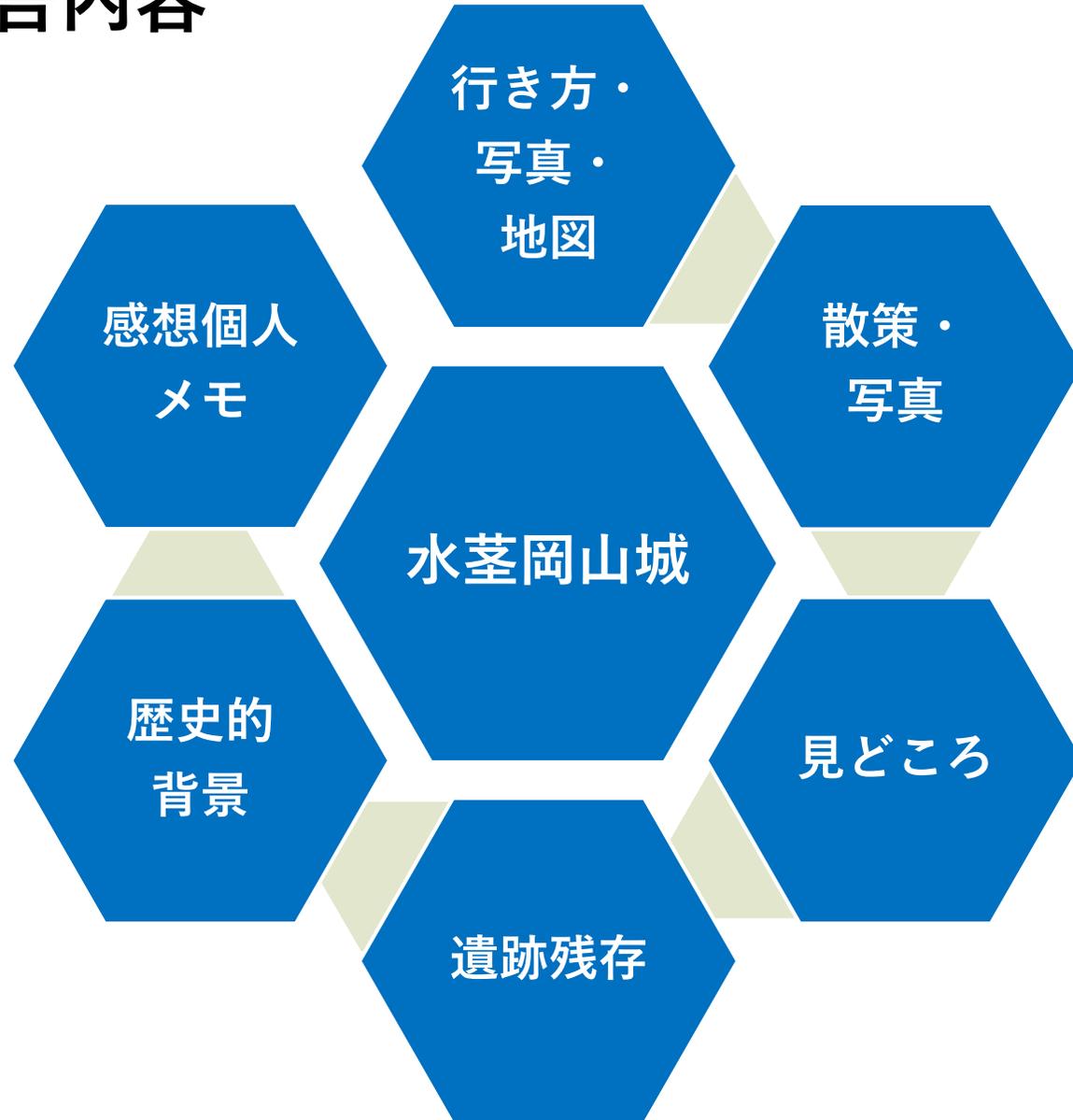
関ヶ原合戦 江戸幕府

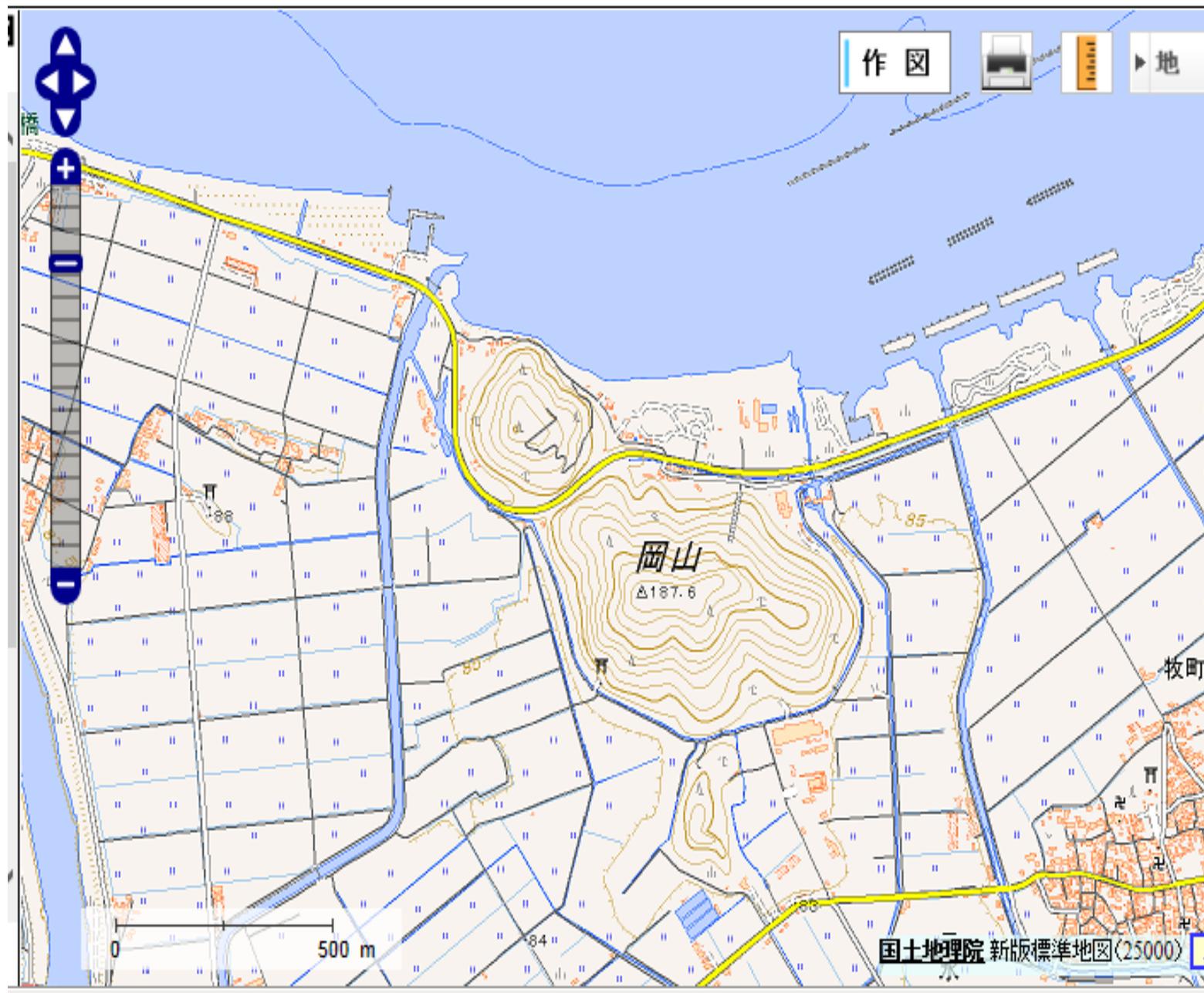
1868

天下普請 彦根城



10. 探訪調査報告内容





实例 水茎岡山城

10-1 行き方

湖岸道路 彦根より

↓
特養 水茎の里
近江八幡市牧町

↓
左手に石碑

↓
道路左に駐車

10-2. 散策コース





10-3. 見どころ

水荃岡山城

頭山からの眺望

近くに
深谷・岩崎山城
津田山・沖島が
見られる。



10-4. 遺跡

水荭岡山城跡石跡

観音寺城跡 探訪



- ・探訪日 '14. 2. 18 (曇り時々小雪)
- ・メンバー： 信澤. 川村. 宮下. 小山

1. 1. 観音寺城跡の概要

1. 所在地： 近江八幡市安土町石寺地先（旧五個荘町と安土町）

湖東平野のほぼ中央に、標高433mの南北に伸びる“^{きぬがさやま}織山”
の山頂から南斜面に連続して郭を連ねる大規模な山城。

2. 歴史上の背景：

近江守護：佐々木六角氏が戦国時代に居城した山城。

築	城	1467～1487年(応仁・文明)
廃	城	1568年(永禄11年)
築	城主	六角 氏頼
主な改修者		佐々木 六角氏
主な城主		佐々木 六角氏

観音寺城跡の模型

(県立安土城考古博物館蔵)



※観音寺城は、近江平野のほぼ中央部、背後に琵琶湖や 大中の湖。 正面に京都へ至る東山道と伊勢へ抜ける八風街道があり、戦国時代の要衝に位置する。



史跡観音寺城跡縄張図

— 散策路

①.【川並口の有料林道から城跡へ探索】



織山有料林道料金所

手前の無料駐車場

(ここから約2 Kmで
車道終点)



・ 有料林道終点

無料駐車場 (約10台OK)

・ 正面左り砂利道を登る。

(徒歩約10分)

「伝布施淡路丸」に至る)

②.【伝布施淡路丸の遺構】（有料林道終点より徒歩約10分）



散策道から「伝布施
淡路丸郭」への入口。
（散策道からの案内標識
小さく見落す）



- ・「伝布施淡路丸」の
“郭を取り巻く石垣”
（石垣の高さ約1.5～2.5m）
（郭入口の外側から撮る）

③.【三角地点(大見付)との分れ道】



- 散策道から「三角点方面」への案内標識。
(大見付、大土塁へ)
- 「観音正寺」経由
「伝本丸方面」は写真左へ



- 「観音正寺」に至る。
(西国33カ所の
32番目札所)
- 伝本丸方面は、写真の杉木
左奥の“石段)”を降りて
行く

④.【伝本丸方面へ】



観音正寺に向かって
左下（南側）に城跡
へ進む。

（道幅 1.5 M位）

・ 観音正寺から徒歩 12
分で、「分岐点（本丸・
平井丸等の屋敷跡）」至る。

・ 散策道の坂道を直進。
（伝本丸に至る）

⑤.【伝本丸の郭(曲輪)群】



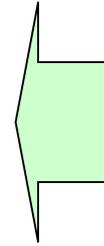
伝本丸を示す案内標識
(積雪 10 c m)



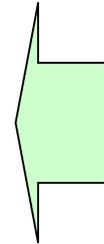
伝本丸の北側、食い違い
虎口の外側下にある「大
夫井戸」、周りを石垣で
囲っている。

(井戸の中、清水が有り)

⑥.【伝本丸周辺の遺構】



伝本丸北側（裏）の
「食い違い虎口」
（桑実寺方面へ至る）



伝本丸南側の
「大手道石段（幅：4m有）」
（S44年の発掘調査で発見）
* 本丸側から下り石段を撮影

⑦.【伝平井丸周辺の遺構】



伝平井丸虎口

(最大の石が使われている)

※ (伝落合丸から伝平井丸入口
の虎口を撮影)

伝平井丸の郭 (曲輪)

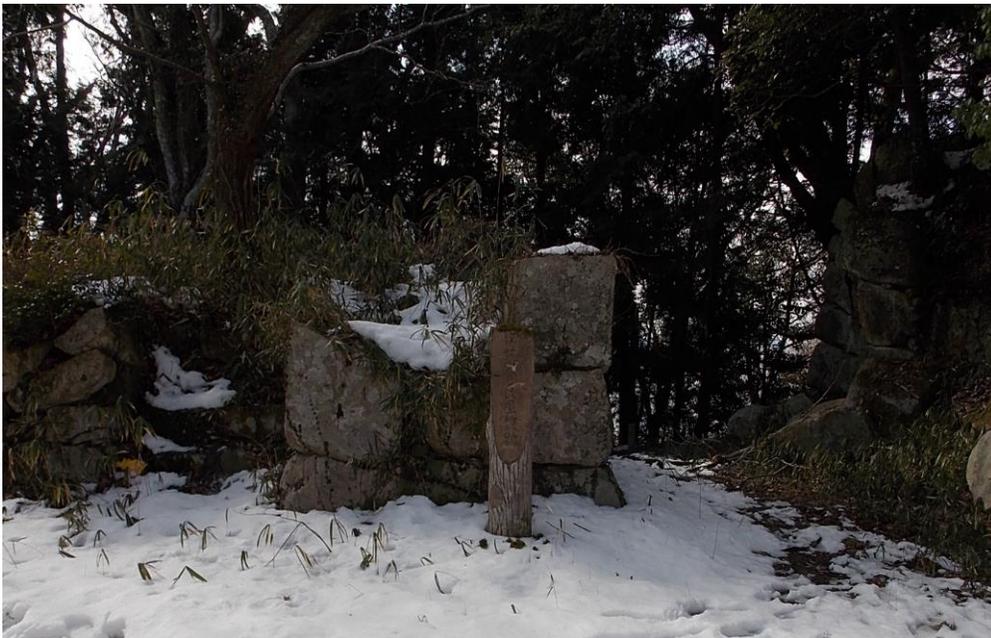
(面積約1700平方m)

※ (伝平井丸の虎口から撮影)

⑧.【伝平井丸と落合屋敷跡の遺構】



伝平井丸石垣の角部分
(2m以上の石が使われて
いる箇所もあり)



伝落合屋敷跡
(伝平井丸の南に位置)

⑨.【伝池田丸の遺構】（城内最大の郭で、北郭と南郭に分けられている）



伝池田丸の郭（曲輪）

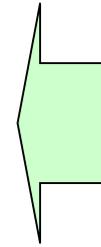
（城内最大の郭で
面積約2700平方m）
（820坪）



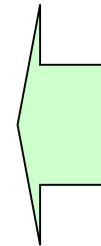
伝池田丸郭（屋敷跡）

（郭の周囲は、高さ1～2
mの土塁と石塁が取り
囲んでいる）

⑩.【伝池田丸の遺構】



伝池田丸の虎口



伝池田丸郭（屋敷跡）

（広い郭の周囲は、高さ1～2mの土塁と石塁が取囲んでいる）

⑪.【大石垣(高石垣)の遺構】(伝池田丸から二段下がった最南端に位置)



大石垣(城内有数の立派な石垣)



「矢穴」(巨石をノミ等を用いて石垣用に割った(加工した)痕跡)

「観音寺城」の見どころ

- ・ 日本有数の戦国時代の巨大山城。
（日本五大山城の一つ、国の史跡に指定）
- ・ 城郭への石垣の本格的導入は安土城以後。
これより古い観音寺城に石垣・石段等が多用されている例外の城。
（高度な石積み技術に驚嘆！）
- ・ 伝本丸、伝平井丸・伝池田丸等家臣団の郭（屋敷跡）は広大で、
郭（曲輪）の周囲は 石塁が取り囲んでいる。
- ・ 登城道は、10数本と多く至る所に 郭と石垣・石段が見られる。
（遺構だらけ！）

12. 個人別感想

川村

- ① 歴史的文化遺産と言える近江の山城の素晴らしさを実感しました。
- ② 日本中世史における近江山城の興亡史の存在価値を再認識しました。
- ③ 課題学習を通じてグループ作業の良さとお互いの人間性を理解できた。

小山

- ① 今までの城郭イコール「水堀・石垣・天守閣等」の先入観が180°変わった。
- ② 山城を登れば、なぜここに山城が築かれたのか素人なりも解るようです。
- ③ 山城から眼下に望む街道や村落また琵琶湖など眺望が素晴らしい。

大工

- ① 本課題学習を通じて城郭の知識・理解が深まり、興味も増大した。
- ② 城郭の遺構には戦国を生き抜いた武将達の強い意志が蘇ってきて、感慨深い。
- ③ 卒業後も近江を中心とした戦国城郭を訪ねて歩きたい。

信澤

- ① レイ大で中井先生より城郭の講義を受けて、城に対する見方が変わった。
- ② 課題学習で知名度のある7ヶ所の山城を探訪して、城郭に興味が高まった。
- ③ 今後も機会を見つけて、城郭を探訪していきたい。

宮下

- ① 山城は建物が残っていないことに魅力を感じます。
- ② 遺構からどんな建物が建てられていたか、想像する楽しみがあります。
- ③ 山に作られたから、現在まで残ったものがあり、新しい発見の期待がある。

13. 参考文献

近江の山城ベスト50を歩く
近江城郭探訪 合戦の舞台を歩く
戦国の城を歩く
観音寺城跡
近江の城
琵琶湖の浮城 水荃岡山城攻防史
戦国の城
イラスト図解 城
日本の城
城郭の見方・調べ方 ハンドブック

中井 均
滋賀県文化財保護協会
千田嘉博
滋賀県教育委員会・文化財保護課
中井 均
成澤 邦正
小和田哲男
小和田哲男
中井 均
阿部和彦